問一　傍線部a～eのカタカナを漢字に改めよ。

a　b　c　d　e

問二　傍線部①「知性が感覚の不意打ちをくらう」の意味内容として最も適当なものを、次のイ～ニの中から一つ選び、記号で答えよ。

イ　心中は殺人と自殺、あるいは二重の自殺であると意識させられる

ロ　近代的な意識では律しきれないものが自分のうちにあるのを自覚させられる

ハ　伝統を軽視して近代化の道を進んできた誤りを認識させられる

ニ　近代的意識では日本文化がわかりにくいことに気づかせられる

問三　傍線部②「しかも彼は切りつけられた側なのだ」という口調によって、筆者はどのような内容を強調しようとしているのか、三十五字以内（句読点を含む）で説明せよ。

問四　空欄 A ・ B に入れるのに最も適当と思う語を、次のイ～への中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

イ　論証　ロ　強調　ハ　肯定　ニ　告発　ホ　暗示　へ　分析

A

B

問五　本文に従って、日本の法意識と欧米の法意識の違いを六十字以内（句読点を含む）で説明せよ。

問六　本文の内容に合致するものを、次のイ～ホの中から一つ選び、記号で答えよ。

イ　浪士たちは勇気がなかったので、倫理的義務と遵法とを同時に実現することができなかった。

ロ　浪士たちは正義と不正義の区別には関心を向けていたが、法秩序ということには無関心であらざるをえなかった。

ハ　浪士たちは正義のために法を犯すこととそのあとに法に従うことが矛盾するとは思って